

千波湖環境学習会レポート！

令和3年7月31日（土）

テーマ 千波湖に入って「魚」たちを調べよう

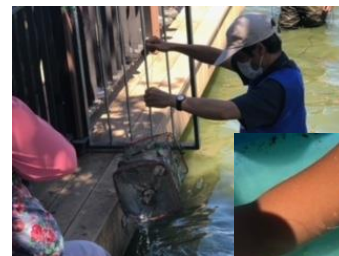
本日の千波湖環境学習会は、千波湖の中に入って、湖に住んでいる魚たちを調べました。朝から雲一つない良い天気！暑さに負けず、たくさん子ども達が学習会に参加しました。学習会の前に、新型コロナウイルス感染症対策として、受付表の記入、アマビエちゃんの登録、開会式ではマスク着用やソーシャルディスタンスの再確認、たくさんの御協力をいただきありがとうございました。

最初は「ワナ調査班」と「千波湖調査班」に分かれて調査開始！先生たちのお話をよく聞いて、みんなで協力して千波湖の生き物を捕まえます。捕まえた生き物は先生たちがその場で解説してくれます。

【ワナ調査班】

先生たちが仕掛けておいたワナを、みんなで一生懸命引き上げました。

デッキに引き上げると、ワナの中で何か動いている気配！？「エビがいる！」と大きな声。みんな集まってじーっと目を凝らすと、小さなエビや魚を発見できました。



何かいるかな？



エビがいたよ！



【千波湖調査班】

みんなの装備は、あみ！かご！ながぐつ！

湖にジャブジャブ入って行って、あみでそーっと湖の中を救い上げると、魚やエビを発見できました。発見した生き物を先生のところに見せに行くと、「これはモツゴだね」「大きなヌマチチブを捕まえたね」「今度はヌマエビを探してみよう」と名前を教えてくれたり、見つけるのが難しい生き物を教えてくれました。

最初の頃はなかなか捕まえられなかった子どもも、1時間もすると名人級？かごにたくさんの生き物を捕まえることができました。

コロナ禍で行う千波湖環境学習会も今年で2年目。たくさんの方に御参加いただきましたが、残念ながら定員に達したため参加ができなかった子ども達は、これからも色々なテーマの学習会が企画されていますので、楽しみにしてください。

学習会の様子を当日の写真と一緒にレポートにしていきますので、見つけた生物や覚えたこと、私たちにも是非教えてください。今回も参加したお友達が捕まえた生き物の写真をたくさん撮らせてくれました。ありがとうございました。